

まじは!!

「それでも、私は喜ぶ」

「それでも、私は主にあって喜び わが救いの神に喜び躍る。」

(ハバクク書 第3章18節・旧約聖書1446頁)

はじめに

通常、預言書は、神から選ばれた預言者に語られた言葉を書き記したのですが、このハバクク書は預言者の方から神に問いかけ、そこで答えた神の言葉を記した書物です。私たちは神に訴え、その答えを求めていることが多いように思いますが、ハバククとの違いは答えを待つか待たないかです。待たずに祈りをやめてしまうため、私たちは神からの取り扱いが少ないような気がします。これまでの取り扱いの体験を思い起こしながら、必ず応えてくださることを信じ歩むべきなのです。

ハバククの祈り

第3章は祈りに答えられた、また答えられることを信じて歌ったハバククの祈りです。考えてみると、詩編150編の詩の中で、多くは作者の悲痛とも思える神への訴えや願いから始まっていますが、言葉を連ねる中で取り扱われ、感謝の祈りに変わっていきます。それは今までもそうであったように、今回も神は必ず勝利を与えてくださるとの「幻」を心に刻んでいるからであり、そして私たちの確信に違わず、私たちの訴えは神からの勝利の答えとして結びついていくのです。この祈りも、まだ実現していないけれども、神が必ず応えてくださると信じて祈っている信仰詩です。

「数年のうちに」

もう少し詳しく内容を見てみましょう。まず自分を取り巻く悩ましい現実に対し、「御業を数年のうちに現してください」と訴えています。

「すぐに」とは言わず何か遠慮しているように受け取れますが、この語は「年を積み重ねていくうちに」との意味で、「すぐに」という自分の意思を押さえ、神が言われた「必ず来る。遅れることはない」「定めの時」を尊重する言葉です。取り扱いがあって、神がなされる時が最善であると信じている姿勢がわかります。そしてその上で、過去に行われた、自然の常識をも超え、恐れを抱くほどの奇跡の神の力ある御業を思い起こしています。ヨルダン川や紅海、ギデオンの戦いで日が沈まなかったことも思い起こしていたことがわかります。そして「あなたはご自分の民を救うために戦われる」との告白に至ります。

「静かに待とう」

そして、神の前にぬかずき祈るハバククは、その勝利を確信し、「私は静かに待とう」と神に答えます。ただ、今置かれている自分の現実には変わっていません。いちじくの木に花は咲かず、ぶどうもオリーブも、畑の実りもない。羊も牛もいません。生活の基盤をすべて失っている中であるものの、ハバククは神に訴え、さらに神からの答えをいただき、それを受けてさらに祈る中で、自分が喜び躍る幻を抱くことができたのでした。私たちも悩みの中にあってハバククが抱いた確信を得て、「わが救いの神に喜び躍る」と祈れる者とさせていた

だきたいと思います。
【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「主よ、私はあなたの名声を耳にし 主よ、あなたの業に畏れおののく。その御業を数年のうちに現してください。数年のうちに示してください。怒りのさなかにも、憐れみを忘れないでください。…あなたはご自分の民を救うため 油注がれた者を救うために現れた。…私は静かに待とう 我々を攻撃した民に苦しみの日が来るのを。いちじくの木に花は咲かず ぶどうの木は実をつけず オリーブも不作に終わり 畑は実りをもたらさない。羊はすべて囲いから絶え 牛舎には牛がいなくなる。それでも、私は主にあつ



て喜び わが救いの神に喜び躍る。神である主はわが力 私の足を雌鹿のようにし 高き所を歩ませてくださる。」(ハバクク書 3:2、13、16～19)

神さま、私は忘れていました。あなたは今までも一番最善の時に、最善の方法で最善のことをなしてくださいました。ですから、今置かれている現実是不安ばかりで、出口のない苦しみの中にいますが、私はあなたがなされる驚くような御業を待ち望みます。そしてその日を信じ、心を落ち着かせて静かに待ちます。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (114) 第5章18～20節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたの泉は祝福されよ。あなたの若い時の妻から喜びを得よ。愛に溢れる雌鹿、恵みに満ちた野山羊。あなたはその乳房にいつの時も満ち足り 絶えず彼女の愛に酔いしれよ。子よ、なぜ、よその女に酔いしれるのか 異国の女の胸を抱くのか。」

◎口語訳 「あなたの泉に祝福を受けさせ、あなたの若い時の妻を楽しめ。彼女は愛らしい雌じか、美しいしかのようだ。いつも、その乳ぶさをもって満ちし、その愛をもって常に喜べ。わが子よ、どうして遊女に迷い、みだらな女の胸をいだくのか。」

◎新改訳 「あなたの泉を祝福されたものとし、あなたの若い時の妻と喜び楽しめ。らしい雌鹿、いいいかもしかよ。その乳房がいつもあなたを酔わせ、いつも彼女の愛に夢中になれ。わが子よ。あなたは どうして他国の女に夢中になり、見知らぬ女の胸を抱くのか。」

「偶像との関わり」

15節から記されている一連の夫婦関係、そして夫婦を中心として築かれている家庭を守るようにとの教えはより具体的な表現を用いてさらな続けられていき、遊女やみだらな女、つまり「よその女」に対する警告を持ってまとめられていきます。申し上げてきたように、これは

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ～ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ～ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ～ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ～ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ～ 29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1 ～ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ～ 31)

偶像礼拝にも関わることで、日本でも必ずと行って良いほど有名な寺社の近くには遊郭が存在しています。大河ドラマで取り上げられた「吉原」も浅草寺と「コラボ」して存在していたわけです。聖書の記述にも、偶像の神殿には神殿娼婦や男娼がいたことがはっきり記されています。神への信仰こそが家庭の祝福の基になるのです。

ここで妻に対して「牝鹿」「野山羊」との表現がありますが、箴言同様ソロモンが記したと言われている雅歌にはさらに多くの動植物が登場しています。ご参照ください。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第88編12節「あなたの慈しみが墓の中で あなたのまことが滅びの国で語られるでしょうか。」◆どん底に落ち、そこでごめくように苦しみ、絶望の中で希望も見いだせずにこの詩は終わっている。このような詩はあまりない。だがこれもまた現実だ。祈っても祈っても光が見えてこない。そんな日もあるに違いない。だが、忘れてはならない。ホーリネス教会弾圧時、菅野鋭師は牢獄で死んだ。暗闇に置かれたまま、息をひきとった。しかし、神はそれをもって後の栄光とされている。どのような結果でも神は勝利をもたらされる。

●賛美／221 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第89編16節「幸いな者、喜びの叫びを知る民は。主よ、彼らは御顔の光の中を歩みます。」◆神の民たちが神から「行うように」と命じられた祭がいくつかある。過越祭がそれであるし、レビ記に記されている「焼き尽くすいけにえ」などの日常的な献げものもそう。喜びの叫びとは、この祭りによってもたらされるのだが、私たちはこれらの祭りは行わない。それは主イエスがその祭りのすべてだからだ。私たちは主イエスの誕生、十字架と復活を祝い、喜ぶべく、礼拝に集う。これこそが私たちの祭である。喜びの叫びを知る民とされたい。

●賛美／222 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第90編12節「残りの日々を数えるすべてを教え 知恵ある心を私たちに与えてください。」◆表題に「神の人モーセの詩」とある。私たちの寿命は70年、健康でも80年とあるが、労苦と災いしか誇れず、瞬く間に過ぎ去ると歌った。モーセは120年生きたが、モーセの一生もまた苦悩に満ちていた。それで終わっていくのが普通だが、「知恵ある心を与えてください」と祈る私たちは違う。その人生を神が様々な彩り、私たちの手の働きを祝福し(17)充実した日々と変えてくださる。神によって与えられる知恵によって、私たちの人生は豊かになる。

●賛美／223 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第91編15節「彼が私を呼び求めるとき 私は答えよう。苦難の時には彼と共にいる。彼を助け出し、誉れを与えよう。」◆人間の手で作った神には、答える力はない。人形と同じように、それらしい雰囲気だけを漂わせてはいるものの、命がないからだ。しかし、まことの神は、「答えてくださる」神である。また、「共にいてくださる」神である。それは思い込みではない。神はその言葉である聖書によって人を教え、導き、約束を成就される。その祈りは確実に神に届き、みわざによってその答えを現実のものとしてくださる。

●賛美／224 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第92編15節「年老いてもなお実を結ぶ 命豊かに、青々として。」◆ここには老年になっても生気に満ちて、元気に過ごすのだと記されている。老若男女問わず、毎日、生き生きと生きたいと思っているはずだ。だれもしよぼくれていたいとは思わない。だが、なぜそれが思うようにできないのか。その答えがここにある。神を慕わないからだ。「主の家に植えられ 我らの神の庭で茂る」、つまり、神を常に慕い、神との交わりに生きるならば、神への礼拝を欠かさないならば、生き生きと生きることができる。

●賛美／225 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるよう。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第93編1節「主は王となられた。主は威厳をまとい 力の衣を身に帯びておられる。世界は固く据えられ 決して揺らぐことはない。」◆新冷戦時代と言われて久しい。指導者にも問題があるが、アメリカ、中国、ロシアの対立が目立っている。そこにEUや中東問題も複雑にからんで世界が揺れ動いている。それぞれの国のトップが王のように振る舞っているからだ。そこに平和はない。高ぶった人間の仕業は、戦争を引き起こすが、現代においてそれは世界の破滅を意味する。もし、神の前にへりくだるなら、すぐにでも平和がおとずれるのだが。

●賛美／226 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第94編17節「主が私の助けとならなければ 私の魂は危うく沈黙の内に伏していただろう。」◆人間同士が互いに沈黙し続ける。これほどの悲惨はない。静寂ではなく、沈黙は神との交わりが途絶えてしまうことを意味する。自分から神との交わりを拒否するのは神からの通話を「着信拒否」する行為だ。神は私たちを無視せず、通話をしようと試みているが、私たちがそのかたくなさを解かなければ、神との間に「沈黙」がおとずれる。心を生かす言葉が語られなくなった時、そこに果てしない恐怖がもたらされる。神に心を向けるべきだ。

●賛美／229 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【しとげんこうろく 15:36 ~ 16:40】

「フィリピでの でんどう」

(しとげんこうろく 2:8)

でんどうの たびの ようすを エルサレムにいる しとたちや しんじゃのひとに ほうこくをした パウロは、がいこくのひとたちにも ふくいんをつたえなければならぬのだと うったえ、みんなが そのたいせつさを することができました。いままで イエスさまを信じたら りっぼうも まもらなければならないといっていた ひとたちも、かいぎで ぐうぞうをおがまないという ことをまもっているばいいと きまったことで なにも いわなくなっていました。これで おおくのひとたちが パウロのはたらきの ために まえにも まして いのるようになりました。

そこでパウロは アンティオキアにかえってすぐに、もういちど でんどうのたびにでようと バルナバを させいました。はなしあいの けっか、バルナバはマルコと コンビをくみ、

パウロは シラスといっしょになり、それぞれのところにてかけることになりました。

パウロは まえの りょうこうで おとずれたまちにたちよって、しんじゃをはげましたあと、マケドニアといって、いまの ギリシアのほうにむかっていきました。これは かみさまの みちびきでした。

トロアスという まちまで きたとき、そのよる、「マケドニアに わたってきて、わたしたちを たすけてください」と つげる まぼろしをみました。パウロは かみさまからの ごめいれいだとしんじ、トロアスからふねにのり、マケドニアにむかいます。ネアポリスというみなとに ついたあと、フィリピというおおきなまちにきました。そこで みんなが あつまっているばしょに いき、さっそく ふくいんをつたえました。すると、とても たかい むらさきぬのをうって しょうばいをしていた リディアというおんなのひとが イエスさまを信じました。そこから、すばらしい フィリピのきょうかいが うまれるのです。

●かんがえてみよう

☆パウロは だれといっしょに でんどうのたびに できることになりましたか。(しとげんこうろく 15:40)

☆パウロは トロアスで どんな まぼろしを みましたか。(しとげんこうろく 16:9)

☆フィリピで イエスさまを信じた おんなのひとは なんというなまえでしたか。(しとげんこうろく 16:14)



なむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

め
ぐ
み
に
だ
ね
ら
れ

め	ゆ	だ				れ		
				だ				
ら	ね	ぐ			れ	だ	め	み
		に	ら	ぐ	ね	め		
ぐ	め			れ			ね	ら
れ	ら				に	み	だ	ぐ
		れ	み		だ	ね	に	
み			め					
ね								ゆ

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① さぬきのむら
- ② こべつうどう
- ③ つとうしょ
- ④ かしわぎ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「成田空港」

6月から南大沢、多摩センターから成田空港行きのバスが出るようになりました。時刻表を見ると4時20分発で2時間50分で着きます。橋本駅からも同時刻で出のですが、相模大野、町田を経由していくので、10分余計にかかるようになっていました。

ただ、相模原からだ海外旅行に行く際は、成田空港よりも羽田空港の方が便利です。以前、石原慎太郎が都知事だった時、「成田は貨物専用にし

て、海外の旅客便は羽田に集中させれば良い。米軍の横田基地を共用することもできるはずだ」と発言したことがありました。大半の人はその方がありがたいと思ったはずですが、ただ、そもそもなんで成田だったのかと、いう話になるわけです。

新空港建設時に羽田ではなく、別の場所に作るという方向が紛糾した主因です。いざ計画を実施しようと事前調査してみると、どこも用地買収や近隣住民の反対が障壁となって一向に進まない、そのために天皇家の広大な御料牧場がある成田になったわけです。ところが、地元と話をしていなかったため、成田紛争が起きました。技術がなかったのかわかりませんが、最初から今のように羽田を拡張していけばよかったんじゃないでしょうか。

聖書ふれあい街歩き

●神の箱の行き先 8

安易に担ぎ出してペリシテに奪われてしまった「主の箱」でしたが、どこにいても扱いが不遜だったために災いが起こり、「神の臨在」の特権に預かることができませんでした。

しかし、キルヤト・エアリムの町ではしっかりとした備えをしたことで問題は起きず、20年、安置することができました。この町は山間部にあり、ペリシテの境とはほどほどに距離があり、エルサレムとも15km程度。可もなく不可もない中間地点です。神がもともとあったシロに戻さなかったのは、イスラエルの神への信仰が薄くなり、墮落していたからで、神はこの期間に信仰の立て直しを進めてあられたからだと考えられます。20年とありますが、エリのもとにいたサムエルが指導者として力を付けるまでの期間とも言えますし、またダビデが登場するまでの期間だったと言ってもいいでしょう。いずれにせよ、イスラエルが神に立ち返るための忍従期間であり、そのためにこのキルヤト・エアリムが橋渡し役として用いられたのでした。王になったサウルは主の箱に関心がなかったようですが、ダビデが王となった時、エルサレムに戻すことを願い、それを実行していくのです。

ななめ聖書 先週のこたえ

て	す	ほ	の	う	ん	じ	い	べ
じ	ん	の	べ	ほ	い	て	す	う
い	う	べ	す	じ	て	の	ん	ほ
ん	じ	い	ほ	て	う	べ	の	す
ほ	べ	て	い	す	の	ん	う	じ
す	の	う	ん	べ	じ	ほ	て	い
べ	て	じ	う	ん	す	い	ほ	の
う	い	ん	じ	の	ほ	す	べ	て
の	ほ	す	て	い	べ	う	じ	ん

①かみにたちかえる

②ぜんかいしゅう

③ぐうぞう

④かつれい



ローマに向かうパウロ

大隊長は、若者の手を取って人のいない所へ行き、「知らせたいこととは何か」と尋ねた。

若者は言った。『ユダヤ人たちは、パウロについてもっと詳しく取り調べると言う口実で、明日パウロを最高法院に連れて来るようにと、あなたに願い出ることに決めていますどうか、彼らの言いなりにならないでください。彼らのうちの四十人以上が、パウロを殺すまでは飲み食いしないと誓い、待ち伏せしています。そして、今その手はずを整えて、ご承諾を待っているのです。』

そこで大隊長は、『このことを私に知らせたとは、誰にも言うな』と命じて、若者を帰した。

(使徒言行録23:19～22)



連行されるパウロ

【大隊長の決断】

パウロの甥が大隊長に話している内容をみると、暗殺計画を正確に把握していたことが分かります。大隊長に願ったのは「彼らの言いなりにならないでほしい」(21)ということでした。

どちらが先に大隊長に告げるかで結果が大きく左右します。時間の問題だと思った甥の迅速な行動がパウロを助けました。

大隊長は若者が真剣味を帯びていたからか、とりあえず聞くことにして、「手を取って人のいない所」に連れて行きました。若者が訴えてきた雰囲気から、機密性が高い情報であると感じていたからに他なりません。もし他の兵士や関係者の前で話を聞けば、暗殺計画を立てた者たちに情報が漏れる可能性があります。共犯者が軍の中にいる可能性も否定できませんし、若者が報復を受ける危険もあります。

ダビデがサウルの手を逃れてノブの地にいた祭司アヒメレクのところに寄った時、そこにサウルの家臣ドエグがいたことで、すぐに知られ、ダビデは間一髪、難を逃れましたが、アヒメレクたち85人が殺されてしまうという出来事がありました。

そこに敵が潜んでいるか分からない、そのための行動でした。そこで大隊長は、若者を落ち着かせ、詳しく内容を確認したわけです。そして、パウロ問題がかなりまずい状況に流れていることを知り、パウロを無事に脱出させなければならないと覚悟します。これは町の治安維持の問題でもあります。なによりもパウロがローマ市民であったことが重要です。もし、ローマ市民が違法に殺されるようなことになれば、問題はローマ政府に

知れるところとなり、下手をすると大隊長はそれまで築いてきた自分の地位が失われることになりかねません。

大隊長はすぐに対策を打つべく、若者に「私に知らせたとは、誰にも言うな」と命じ、若者をさらせました。「大隊長の耳に入った」と知ったならば、敵はその手段を変えてくる可能性があります。待ち伏せをする場所、そのタイミングを変えるだけではなく、もっと巧妙になる可能性もあります。情報提供者にも危害が及ぶかもしれないからです。機密保持と完全確保のために必要な命令でした。

少し視点が変わりますが、主イエスも、奇跡を行った後に「誰にも言うな」と命じられていたことがあります。これは秘密保持のためではありません。まず第一に、当時のユダヤ人たちはローマに抑圧されていたことで、メシアの待望が高まっていた時期でした。ただ、彼らのメシア像は「政治改革者」「国家の救済者」であったため、誤解を招くことがないようにするためでした。さらに奇跡を受ける者たちの信仰が幼かったからです。いや、病気が治っても、それ自体は喜ぶものの、神を崇めようとする態度が表れてこないであろうことを感じていたからです。「誰にも、何も話さないように」(マルコ1:44)や「誰にも知らせないようにと厳しく命じ」(マルコ5:44)、などです。ですから、主イエスが十字架と復活を成し遂げてからは「すべての民を弟子とせよ」「すべての造られた者に福音を伝えよ」との命令に変わっているわけです。

疑問に思われている方がおられるのではないかと思います。取り上げました。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えます。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかれた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

